

2017年3月22日

報道関係各位

公益財団法人 笹川スポーツ財団

**男子卓球 1988年ソウルオリンピックに出場
男子日本代表監督就任、小学生全国チーム育成など卓球界改革けん引**

宮崎 義仁氏
スペシャルインタビュー 公開

「スポーツ・フォー・エブリワン」を推進する、笹川スポーツ財団（所在地：東京都港区 理事長：小野清子 以下：SSF）では、スポーツの価値や意義を検証し、あるべきスポーツの未来について考える機会として、日本のスポーツの歴史を築かれてきた方々へのインタビュー記事「スポーツ歴史の検証」（<http://www.ssf.or.jp/history/tabid/811/Default.aspx>）を連載しています。

次世代のスポーツ振興の架け橋をテーマに今回ご登場いただくのは、2001年、低迷していた日本の卓球界を復興させるべく卓球男子日本代表監督に就任し、大鉦を振るって大改革をしてこられた宮崎義仁さんです。

宮崎さんは1988年ソウルオリンピック出場など選手としても活躍。代表監督に就任するやいなや、改革に着手。小学生のナショナルチームも作り、自ら選手育成を手掛けています。ご自身の選手としての歩み、改革の経緯、これからの日本の選手育成などについてお話しいただきました。

**笹川スポーツ財団 スペシャルサイト『スポーツ歴史の検証』
第58回 日本卓球界を復活に導いた「大改革」
宮崎 義仁 氏**

スポーツ歴史の検証 で検索ください！

【URL】 <http://www.ssf.or.jp/ssf/tabid/813/pdid/250/Default.aspx>

【主な内容】2001年、代表監督就任と同時にスタートした改革／エースの大泣きから始まった競技人生／1日12時間、血尿が出るほど練習に明け暮れた大学時代／代表辞任の要請からナショナルチーム監督へ／岸川の言葉で感じた意識改革の成功／日本卓球界の牽引役となる新エースの存在 など



宮崎 義仁（みやざき よしひと）氏

1959年長崎県生まれ。中学生から卓球を始める。1988年ソウルオリンピックに出場。ナショナルチームコーチを経て、2001年に男子日本代表監督に就任。2012年JOCエリートアカデミー総監督、2016年日本卓球協会常務理事・強化部長・強化本部長に就任し、現在に至る。

インタビューアー 山本 浩（やまもと ひろし）氏

1953年生まれ。スポーツ評論家。NHK在職中はエグゼクティブアナウンサー、解説委員（スポーツ・体育分野専門）として活動。現在は法政大学スポーツ健康学部教授を務める。

＜スポーツ歴史の検証＞概要

【企画制作】公益財団法人笹川スポーツ財団

【後援】スポーツ庁、東京都、公益財団法人日本体育協会、公益財団法人日本オリンピック委員会ほか

【特別協力】株式会社アシックス

この件に関するお問合せ先
笹川スポーツ財団 経営企画グループ：古坂（ふるさか）
TEL：03-5545-3301 info@ssf.or.jp